

新型コロナウイルスの検査装置を導入しております

2020年12月下旬に導入

当院では、新型コロナウイルス遺伝子検査のため2種類の装置を導入しています。1台は2020年12月下旬から、もう1台は2021年2月上旬から導入しております。

主な目的は、発熱症状がある外来患者さんのスクリーニング(ふるい分け)検査、入院患者さんの感染の有無を調べるためです。また、インフルエンザの流行期に備えるためでもありました。

遺伝子検査(核酸増幅法)には様々な測定方法がありますが、当院ではPCR法とNEAR法で測定できる装置を1台ずつ採用しています。岐阜県の補助金を活用致しました。

結果判明までの時間が大幅に短縮

以前の外部委託検査では、結果判明まで**2日間程**の時間を要していましたが、自院検査できるようになり、**1時間程**(PCR法の場合)で結果が分かるようになりました。

結果を待っている間は、患者さん、職員ともに不安な時間を過ごすこととなります。この装置を導入したことで、そのような不安な時間が短縮されたのではないのでしょうか。



2種類の検査装置について

初めはPCR法の装置を2台導入する予定でしたが、全国的に注文が集中していたことで、もう1台は納期が遅れてしまう状況でした。

NEAR法の装置は、PCR法の装置よりも若干精度は劣りますが、13分以内と短時間で結果が分かります。検査数が増えることが想定されていた為、もう1台は短時間で結果が分かるNEAR法の装置を採用することになりました。NEAR法の装置は発熱外来のスクリーニングに活躍しています。

陽性疑いの強い方の場合は、NEAR法の装置で陰性判定だった場合、念のためにPCR法の装置でも再検査をして結果確認を行っています。

どの検査も単独で100%というものはありません。診察と合わせて総合的に診断されます(臨床診断)。

当院の検査装置



- ① スマートジーン…PCR法で測定(約60分で測定可)
 - ② ID NOW…NEAR法で測定(13分以内で測定可)
- ※小型でスペースをとらない装置です。

患者様へのお願い

感染拡大防止のため、**発熱症状**がある場合は、必ず**ご来院前**に電話にてご連絡ください。



TEL 058-241-0681